

広島市立中央図書館等再整備基本計画（案）＜概要＞

1 再整備基本計画の目的

中央公園内の公共施設については、令和2年3月に策定した「中央公園の今後の活用に係る基本方針」において、中・長期的な取組として「耐用年数を迎える公共施設を必要に応じて集約しつつ機能更新を図ることなどを検討する」としている。

これを受け、築約40年以上が経ち老朽化が著しく、多くの課題を抱えている中央図書館、こども図書館及び映像文化ライブラリーについて、これらの施設が持つ機能・役割を踏まえつつ、市民サービスのより一層の充実を図るために、中央図書館等の再整備について計画を策定する。

2 各施設の現状と課題

施設名	現状	主な課題
中央図書館	昭和49年開館（築47年） 延床面積 7,965.97㎡ 年間入館者数 397,031人	・ 入館者数が、平成21年度に比べ平成30年度は20.3%減少している。 ・ 蔵書数に比べ書庫が大幅に不足している。
こども図書館	昭和55年開館（築41年） 延床面積 1,034.00㎡ 年間入館者数 209,624人	・ 中央図書館と離れているため、一般書も児童書も借りたい親子連れなどにとって利便性が良くない。 ・ 読み聞かせのスペースや書庫等が不足している。
映像文化ライブラリー	昭和57年開館（築39年） 延床面積 1,293.17㎡ 年間入館者数 38,442人	・ 音楽・ビデオ等の視聴に対する市民のニーズが開設当時から変化しており、ビデオコーナー等の利用者数が減少している。

※年間入館者数は平成30年度実績の数値

3 再整備方針

(1) 機能集約によるライブラリー機能の充実強化

- 中央図書館、こども図書館及び映像文化ライブラリーの機能を集約し、図書館が本来果たすべき市民の教養・調査研究・レクリエーション等に資する役割の充実・強化を図る。
- 利用しやすい図書館を目指し、誰もがより本に親しめる空間づくりを進めるとともに、新たな利用者層の呼び込みを図る。
※ こども図書館が移転後も、緑豊かな中央公園内で子ども達が本に親しめる環境を引き続き提供できるよう、こども文化科学館内に児童図書の閲覧等が可能となる空間を整備する。

(2) 移転整備による利便性の向上と広島らしさの情報発信

- 広域的な交通結節点としての機能が強化される広島駅とペDESTリアンデッキで接続され、アクセスが良くなるエールエールA館へ移転することで、市民だけでなく県内外からの利用者の利便性を高め、広島らしさを発信する機能をより効果的に発揮することになる。
- このことにより、広島駅周辺地区に商業機能とは競合しない文化的機能を付与し、新たな回遊性を生み出すとともに、官民連携による都市機能の集積・強化と合わせ、「東西の核」のバランスの取れた都心づくりの推進につながることを期待できる。
- 郷土資料館のサテライト機能を併設し、広島市の歴史や文化、平和への思いなどの「広島らしさ」を発信する情報拠点とする。

【エールエールA館における利用エリア】

区分	エリア	使用面積	現状
10階	図書と映像のエリア	約3,500㎡	/
9階	広島を知るエリア	約3,300㎡	
8階	こどものエリア等	約3,300㎡	
その他	閉架書庫等	約2,900㎡	
計	—	約13,000㎡	10,293㎡

※専用部分のみ。

4 コンセプトと基本方針

(1) コンセプト

誰もが学び、憩う「『平和文化』の情報拠点」

～誰もがより読書を楽しみ、広島の魅力や平和への思いを学ぶことができる情報拠点～

(2) 基本方針（具体的な機能と活用イメージは別紙のとおり）

① 誰もが読書を楽しめる環境づくり

図書館の本来機能の向上を図るとともに、静かに読書するだけでなく、親子で本に親しんだり、読書しながら憩えるような、誰もがより読書を楽しめる場とすることを目指す。

- ・ 収蔵能力の拡充（約86万冊分 ⇒ 約150万冊分）
- ・ こどもエリアの拡充（約1,000㎡ ⇒ 約2,000㎡） など

② 広島らしさを学び、情報を発信する場づくり

歴史、文化、産業等の「広島らしさ」を学べる場、様々な広島の魅力や平和を県外、国外からの来訪者等へ発信する場、さらには「平和文化」の振興を図るために、市民はもとより、広島を訪れる多様な人々が、平和への思いを共有できる場とすることを目指す。

- ・ 郷土資料館サテライトの設置（約700㎡） など

③ 社会教育の中核施設として、まちづくりや地域課題解決等に役立つ場づくり

社会教育の中核施設として、行政資料やビジネス関連資料を充実させ、まちづくりや地域課題解決などに活かしてもらうための場とすることを目指す。

④ 利便性向上等のためのデジタル化などによる機能の強化

利用者の利便性の向上や「広島らしさ」の情報発信の強化などのためにDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進する。

5 経費

区分	概算費用	備考
不動産取得費	約60億円	土地の取得を含む（土地の資産価値約35億円）
建物整備費	約35億円	書架設置費等を含む
引越費	約1億円	—
計	約96億円	—

※情報システム費、現在施設の解体費等を除く。

※財源として、公共施設の集約化、複合化に対して有利な条件となる事業債等を最大限活用する。

6 運営体制及び今後の調整事項

(1) 運営体制

管理運営は指定管理者制度を活用する。

(2) 今後の調整事項

- 休館日・開館時間等の施設運用に関する広島駅南口開発㈱との調整。
- 移動図書館車や配本用配車の車庫や荷捌き場など、他のテナントと共用する部分についての、搬出入時間等の運用に関する調整。 など

7 整備スケジュール

- ・ 令和4年度～令和5年度 基本設計・実施設計業務
- ・ 令和5年度～令和7年度 床取得、再整備工事、開館準備（引越等）
- ・ 令和7年度 開館（予定）

10階 図書と映像のエリア

【図書のエリア 導入機能等】
開架図書（一般書・専門書等約15万冊）、
閲覧スペース、自習スペース、
インターネットコーナー、対面朗読室 など



【図書のエリア 主な活用イメージ】

- 一般書や専門書等の開架図書を充実させ、様々な市民の読書や学習ニーズに対応
- 多彩な閲覧スペース（静かに読書できるスペース、飲物を飲みながらリラックスして読書できるスペース等）を設置し、多様な読書スタイルに対応
- 商用データベースの拡充やレファレンスの充実による企業や創業希望者へのビジネス支援を強化
- 個人学習やグループ学習ができるスペースの拡充
- 図書の自動貸出機や座席の予約システムを活用した効率的な図書館利用
- Wi-Fi環境の整備やタブレット端末の貸出など、ITを活用した調べ学習の強化
- カフェコーナーの設置 など

【映像のエリア 導入機能等】
上映ホール（約100席）、
試写試験室、映写室、
映像関連資料コーナー など



【映像のエリア 主な活用イメージ】

- 図書館と一体となった空間づくりにより、映画と関連した図書や資料なども同時に楽しめる新たなニーズに対応
- 平和や広島ゆかりの作品等の上映を通じた平和文化の発信
- 朗読会や講演会、ひろしま国際平和文化祭等との連携による音楽演奏会など上映ホールの多様な活用 など

各フロアを行き来するだけで、誰もが好きな本や映像を楽しめる、広島について学べる

9階 広島を知るエリア



【導入機能等】

広島文学資料コーナー、郷土資料館サテライト（約700㎡）、開架図書（広島関連図書約3万冊）、貴重資料保管室、展示スペース、閲覧スペース など

【主な活用イメージ】

- 広島広域都市圏内市町の行政資料等を充実させ、地域課題解決に役立つ学習拠点としての機能の充実
- 広島文学資料コーナーの展示スペースや閲覧スペースを拡充し、利用者がくつろぎながら学習できる環境を確保
- 広島の歴史や観光資源等をデジタル技術を活用して、わかりやすく紹介し、観光客等を市内各所に誘導するガイダンス的機能を新たに導入（郷土資料館サテライト）
- 民間企業や大学、美術館等と連携し、広島ならではの文化・経済・歴史などと図書にまつわる企画展示の積極的な実施 など

【郷土資料館サテライト】



8階 こどものエリア



【導入機能等】

開架図書（児童書等約9万冊）、閲覧スペース、読み聞かせセルーム、キッズスペース、授乳室、ベビーカー置き場 など

【主な活用イメージ】

- 子どものための専用エリアとすることで、気兼ねなく親子等でおしゃべり等しながら読書できる空間を拡充
- 親の膝上での読み聞かせや、寝転んでの読書など、靴を脱いで過ごせるキッズスペースの設置
- 読み聞かせセルームの拡充により、子どもだけではなくスタッフやボランティアにも居心地よい環境を確保
- 中高生向け（ヤングアダルト）の書籍等に特化したスペースの設置 など

8階 みんなのエリア

【導入機能等】
セミナー室・会議室 など

【主な活用イメージ】

- 広さの異なるセミナー室等を複数設置することで、読み聞かせボランティア等の活動の場所としての利用や、市民向け講座の開催、企画展示の実施など、様々な利用に対応
- 図書館利用者の学習ニーズに応じ、グループ学習できる部屋として利用することも検討

その他の階



【屋上広場の活用イメージ】

- 屋上を活用した青空読書会などのイベント開催など

【その他の階の活用イメージ】

- 移動図書館車庫等
- 移動図書館車や各区図書館等への配本用集配車の荷捌き場
- 閉架書庫（開架書庫と併せて全体で約150万冊分を収蔵）

民間事業者等との連携や周辺環境を活かした新たな利活用

- 広島駅周辺地区の民間事業者や地域住民と連携したエリアマネジメントへの取り組み
- エールエールA館内のテナントと連携した合同イベントやPRの実施による図書館来館者の呼び込み
- 猿猴川の川の駅や広島駅南口地下広場など、公共空間を活用したイベントの開催
- 総合福祉センターや留学生会館など、周辺の公共施設と連携したイベント等の開催
- 学校等と連携した子どもの読書活動への支援の強化 など